

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み



電源脱炭素化

当社グループでは、再生可能エネルギーの普及貢献に向けて、国内外の複数の案件で取り組みを加速させています。

2021年度は、国内洋上風力発電事業における環境アセスメントの実施や国内外での太陽光発電事業における他事業者との連携や出資等を実施しました。

第1回 トランジションボンド（第44回無担保社債）発行

大阪ガスは、2022年6月2日に発行金額を100億円とするトランジションボンド*を発行しました。

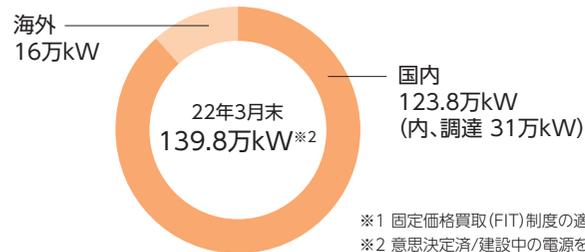
調達した資金は、再生可能エネルギー事業とお客さま先設備の天然ガスへの燃料転換に貢献するプロジェクトに活用します。

*トランジションボンド：企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則った取り組みを資金使途として発行する社債

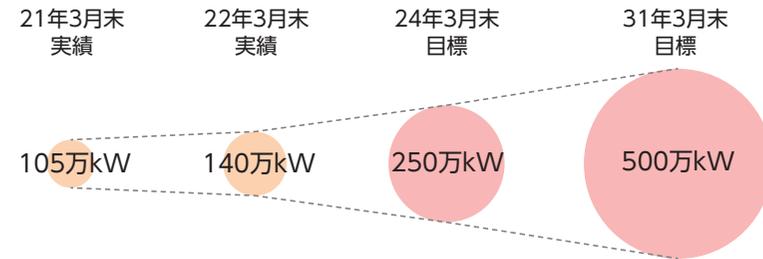
2021年度からの主な取り組み進捗

| | 計画・取り組み内容 | 期間 | 主な実施者・事業者 | |
|---------------|--|---|---|---|
| 再エネ電源 | ブライターフューチャー太陽光発電所（米国）の取得・商業運転開始 □□ P.61 | 発電容量 1万5,700kW | 2021年9月取得 2022年1月商業運転開始 | Osaka Gas USA Corporation 米国三菱重工（株） Oriden LLC |
| | 尻別風力発電所の商業運転開始 | 発電規模 2万7,000kW | 2021年9月商業運転開始 | Daigas ガスアンドパワーソリューション（株） |
| | 青森県横浜町における陸上風力発電所の取得 | 発電規模 4万3,200kW | 2021年7月取得 2023年4月の運転開始予定 | 大阪ガス 東急不動産（株） （株）日本政策投資銀行 （合）横浜町風力 |
| 火力電源 | 豪州洋上でのCCS事業の調査・開発を検討 | 洋上でのCO ₂ 回収・貯留（CCS）ハブ・プロジェクト「deepC Store」の開発に関する共同検討 | 2021年6月から検討開始 | 大阪ガス Osaka Gas Australia Pty Ltd. JX石油開発（株） 東邦ガス（株） オーストラリア連邦科学産業研究機構 九州電力（株） （株）商船三井 Tokyo Gas Australia Pty Ltd Technip Energies N.V. Add Energy Group |
| トランジションボンドの発行 | 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みに必要な資金調達の一環として、「グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク」を策定しました。 本フレームワークのトランジション・ファイナンスにかかわる各種原則等への適合について、第三者評価機関であるDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン（株）より、「セカンド・パーティ・オピニオン」を取得しました。 なお、本社債は、経済産業省の「令和3年度クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に係るモデル事例」に選定されています。 【資金使途】 ・再生可能エネルギー事業 ・お客さま先設備の天然ガスへの燃料転換に貢献するプロジェクト | 2022年6月2日発行 （発行金額100億円） | 【資金使途対象事業】 ・印南風力発電所 ・野辺地陸奥湾風力発電所 ・横浜町風力発電所 ・Daigas 大分みらいソーラー ・愛媛県四国中央市における天然ガス供給事業 | |

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

再生可能エネルギー普及貢献量^{※1}

再生可能エネルギー普及貢献量目標と実績



主な再生可能エネルギー電源 (直近の主な取り組み)

